

## スタインウェイ&サンズ ヴィクトリーモデル

このピアノは、1946年1月18日、ニューヨークのスタインウェイ&サンズ本社にて生産されたものです。

ヴィクトリーモデルは、1944年より軍隊用に生産されたモデルです。

別名、ODGI(暗緑色[olive drab]政府配給[Government Issue]) 戦場ピアノと呼ばれました。高さ40インチ(1メートル強)、500ポンド(約230kg)のアップライトで、足は無く、床の上に平らに置かれました。通常スタインウェイ製アップライトを基本としていましたが、鍵盤は象牙ではなく耐久性のあるセルロイド製で、低音部の弦の周囲には通常使われる銅ではなく鉄を巻いていました。これは戦時中、銅は制限金属であり、自由な使用が許されなかったためです。

その他、運搬のために持ち手が背面に2つついていること、また、運搬時にハンマーを抑え音が出ないようにする板が内部にあることは、一般的なピアノには見られない工夫です。

戦争が終了する頃まで、スタインウェイでは、5000台ほどのピアノを生産しており、その約半数がヴィクトリーモデルだったといわれます。

このピアノは、戦後、アメリカ軍より市内の福祉施設が譲り受け、長く使用されていましたが、平成5年に北広島市に寄贈され、文化財資料として収蔵されました。平成17年より修復が行われ、平成20年のミュージックワイヤ、チューニングピンの交換、欠損していた一部のハンマーヘッドの補修などの修理を経て、楽器としての息を吹き返しました。

修復は、市内在住の調律師、廣谷勝氏のご厚意とご尽力によるものです。厚く感謝申し上げます。



### 参考文献：

リチャード・K・リーパーマン著・鈴木依子訳  
『スタインウェイ物語』

法政大学出版局

1998年11月30日初版第1刷 2002年6月1日第3刷